



胎盤を多角的に理解する

胎盤は哺乳類の進化の過程で保存されてきた、非常にユニークな臓器です。胚から胎児への成長に必須であり、母児間の物質交換や妊娠維持にかかわり、胎児にとっての肺、消化管、肝臓、腎臓、内分泌器官の機能を担っています。産婦人科医にとって身近な臓器でありながら、深遠な臓器でもあります。胎盤の進化や発生過程のメカニズム、多彩な胎盤機能の調節機構や病態とのかかわりなど、未解明の点がなお数多く残されており、臨床の場面では胎盤の異常にしばしば悩まされています。

そこで今回の特集では、胎盤に関する最新の知見を幅広い分野のエキスパートの先生方に解説していただくことにいたしました。基礎を深掘りしたテーマから、診断に応用される可能性のある最新知見、直ちに診療に役立つテーマまで、胎盤を多角的な視点から捉える企画といたしました。

本特集が「胎盤」に関する様々な知識の現時点での到達点を示し、産婦人科医が胎盤を深く理解する一助となり、胎盤がかかわる日常診療に少しでも活かされれば幸いです。

(東海大学医学部専門診療学系産婦人科 石本人士)